

中大規模建築物に木材を使用する際に知っておきたい 維持保全・維持管理の考え方と 設計等の工夫

発行のご案内

建築物をつくらうとする方が木材の使用を考える際に、これまでは木材の経年変化や維持管理方法・コストの情報を十分に得ることが難しい状況でした。そこで令和5年度国土交通省補助事業の「木造建築物の適切な維持・管理情報の提供事業委員会（委員長：大橋好光 東京都市大学名誉教授）」において、既存建築物の事例の調査、耐久性確保のための留意点の整理等を行い、令和6年度にその成果をまとめた資料「中大規模建築物に木材を使用する際に知っておきたい維持保全・維持管理の考え方と設計等の工夫」を発行しました。

建築主(事業企画担当・維持管理担当など)、
設計者の方にぜひ活用いただきたい資料です。

○木造建築物の適切な維持・管理情報の提供事業委員会委員
敬称略・順不同

東京都市大学名誉教授 大橋好光<委員長>
関東学院大学名誉教授 中島正夫<WG主査>
宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 中島史郎
一般社団法人不動産協会
一般社団法人日本建設業連合会
一般社団法人JBN・全国工務店協会



本編

CASE

事例

1

はじめに

2

中大規模木造建築物に木材を使用する際に知っておきたい
維持保全・維持管理の考え方

3

木材を利用した部位別の維持保全・維持管理の考え方と
設計等の工夫

4

(参考資料) 木材を利用した場合のコストシミュレーション例

付録

中大規模木造建築物等を対象とした維持保全・維持管理の
実施状況等ヒアリング調査の概括



技術情報資料編

1

技術情報

2

参考情報(木材利用時に耐久性、維持保全・維持管理を
検討する際の参考となる書籍等)

公益財団法人日本住宅・木材技術センターの
「木材を使用した中大規模建築物の維持保全・維持管理」の
ページ (<https://www.howtec.or.jp/publics/index/437/>)
からダウンロードできます。

ダウンロード
無料



公益財団法人

日本住宅・木材技術センター